

東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒102 東京都千代田区神田淡路町2-13-4-401 ソウマ労務管理事務所内
東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 ☎03(3251)5141 発行人 相馬誠一

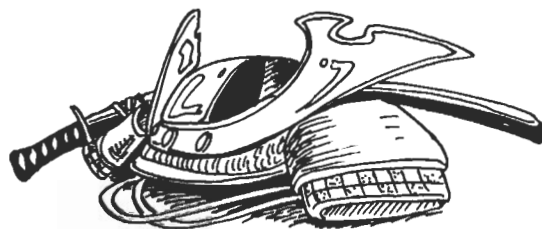


水天宮にて(山崎雅也氏撮影)

スペシャリストの時代で 部下をどう知るか

講師 一龍斎 貞花師匠

〔後編〕



今回は、去る3月11日、電設健保会館で行われた第6回研修会、一龍斎貞花師匠による「戦国武将にみる人の使い方」の後編である。

前回の信長に続いて、秀吉、家康に話が及んでいる。いま、「イソップ物語」の蟻とキリギリスの

話の内容が変わってきているという。どう変わっているのか。また、そういう時代にあって、われわれは戦国武将の人の使い方からどういう点を学べるのだろうか。

金と手紙の差

本能寺で信長を失った秀吉の周りには、上様の敵討ちをしようではないかという錦の御旗があります。いまこそあなたが天下とりに立ち上がるべきですといわれた秀吉は、金を武将にバラまきます。そして兵には、「武器、弾薬は船で尼崎に運ぶ。米もある。武器、鎧もあるから、裸で走ってこい」と伝えます。農民たちからは高い値段で米を買い上げて金をバラまいて、みんなが走るから道は普請しておけ、篝火をたけ、炊き出しでにぎりめしを作っておけと命じる。道は走りやすい。鎧は着ていないし、炊き出しはあるから速く走れる。こうして4日半で尼崎に着いたそうです。

光秀のほうはどうしたかといいますと、高山右近はわしの友達だから来てくれるだろう。細川はわしの女婿だから来てくれるだろうと手紙を出す。片方は金、片一方は手紙だけ。どちらがいいかはわかりだと思えます。秀吉は諸国を回ってみて、米がいかに大事であるかを知っていました。そうして光秀を倒します。

そこまでが秀吉のよかったところで、あとは金どかの聚楽第を造ったり、気に入らなければ、大事にしていた家来を片っ端からみんな殺してしまう。後半は信長以上のひどさです。

太閤検地と刀狩り

秀吉はなぜ刀狩りをしたか。長崎では500人で400本の刀、ほかに鉄砲だとか槍だとかすごい数を狩り上げています。それはお坊さんが刀を持ったり、農民が刀を持って百姓一揆をやらせないためです。

太閤検地では、武士をやめさせて、足軽たちが開墾した畑を全部持たせます。いちばん土地持ちの農民が多かったのは信長、秀吉の時代です。ところが、秀吉は、税金をたくさん取るために、新しく開墾をした畑まで全部調べ上げた。それは朝鮮出兵の出兵能力を調べるためでもあったといいます。力を持った国の場合は自己申告、そうでないところは家来をやって全部調べ上げたといいますから、いまの税務署と同じです(笑)。この秀吉の調べ上げた金額は、アメリカ国土が4つ買えるだけのGNPであった。たいへんなものです。

美食の秀吉・粗食の家康

たいへん面白いのは、秀吉は63歳で死にました。このときに秀頼はわずか6歳。徳川家康は75歳で死んでおりますが、3代家光の代まで決めています。もし秀吉が家康まで長生きをしていたら秀頼は18歳になって成人に達していますから、滅びるにしてももっと豊臣政権は長かったのです。

秀吉は天下をとったあと、どうも美食に走りすぎたのではないかと。家康は天海から、粗食でなければいけない、豆類をたくさん食べろといわれたように、麦めしを食べ、焼きみそをおかずにしていたという説もごさいます。もっとも、鯛の天ぷらを食べすぎて、胃がんがいつそう進んで死んでしまったという説もごさいますし、「白魚を食いたい。伊勢湾から取り寄せよ」といったものですから、隅田川で繁殖をしたといわれておりますが、ここでいえることは、やはり長生きでなければいけないということです。

秀吉は62歳のときに失禁をいたします。これを城造りの名人の篠堂高虎が見て、「あ、秀吉の時代は終わった」といって家康のほうにすり寄っていたといわれます。

苦言を呈するものから逃げるな

家康ならば、秀吉ならば、信長と違って天下がずっととれたのではないかと。確かに家康は家来の使い方がうまかった。それは子どものときに人質になってから、石橋を叩いても渡らないといわれましたが、実際はそうではありません。31歳のときに武田信玄と戦ってさんざん負けまして、尾籠な話、びっくり小便といいますが、馬の上で漏らしながら逃げ込んだそうです。

ところが、浜松城の門を開いて篝火をたいて、笛を吹かせたりした。あれは家来の中にきつと優れた人がいたのだと思います。家康がやったのだといいますが、それぐらいのことをやれる家康なら、なぜ大のほうを漏らして逃げたりするでしょうかと。

家康はこういっております。「直言の功は一番槍に勝る」。苦言を呈するものから逃げるな。普通ならいや味をいう人間を左遷してしまいます。それがわかっていてもなかなかできない。家康という人はそれをやって、戦いのときには特にリラックスさせたようです。

家康のよさは、長生きをしたことです。そして孫の代まで跡取りを決めていたことが、徳川が15代続いたことにつながります。

イソップ物語は変わった

石田梅岩は、「水1升到油1滴」といっております。飲み水が鍋の中にいっぱいあっても、機械油が1滴落ちたら飲み水の用は足さない。今までどんなにいい経営をしていても、一つ間違ったら会

社を危うくする。気をつけなければいかんということをお説いたわけです。バブルはこれに当てはまるのではないかと思います。

勝海舟は、「理屈は死んでいる。時代は生きている」といっております。いまイソップ物語は変わってまいりました。ギリギリスがいくら蟻を呼んでも返事がない。ドアをこじ開けて入って見たら、蟻が過労死をしていた(笑)。「そこで蟻の財産をもらって裕福に暮らしたとき」。そういう時代です。

オーソリティよりスペシャリストの時代

現代の武将といえば、野球でございます。日本で最強だった西鉄ライオンズの監督をした三原脩さんは、「一流になりたければ欠点を直して、完璧にしろ。超二流でよければ、特性を伸ばして長所を生かせ」といわれています。水原茂さんは、「限界は自分で決めるものではない」といっております。

いまはオーソリティよりスペシャリストです。しかし、それをどう見出すかです。「おれたちのときは苦勞したんだ」ではなくて、「いまの子どもたちは恵まれている」ということをまず頭に入れていただきたいのです。「理屈は死んだ。時代は生きている」です。

私は29歳でサラリーマンから転職をいたしました。本当に講談が好きでしたから、「いまやらなかったら、定年を迎えたときに反省をするのではないかと。死ぬときに後悔をするのだたらいまやっておこう。辞めなければよかったと反省するのだたら、絶対に会社を辞めるな。どっちかだ。」私は失敗しても絶対に反省をしないという確約を自分自身でして、この世界に入ったわけです。そして、望まれている仕事をしようと思っております。

皆さま方の協会はもう23年からの歴史があるそうですが、ある面ではまだまだ新しい勲書だと思います。本当に力を合わせて、皆さま方のバッジを立派なものにしていただきたい。「うちは経理士、税理士、顧問弁護士と同じように労務管理の先生は絶対必要なんだ」と、全部の会社が皆さん方を必要とするように協力合って、協会を大いに盛り上げていただきたいという気がいたしております。

社団法人 東京都総合組合 保健施設振興協会 (略称：東振協)

(社)東京都総合組合保健施設振興協会は、東京地区総合健康保険組合協議会(東京地区所在の総合健康保険組合を会員として組織された団体)を母体として、昭和54年7月に健康保険組合制度の普及、及び保健施設事業の振興を目的として設立された団体です。

健康管理事業

1. 保健センター

事業所巡回健診については、会員組合の理解と協力をえて、実施人員の増大を図り、主婦健診については会員組合の要望を受け、実施地域を拡大して実施しています。また、ほぼ正常及び要観察という人に対しては成人病を未然に防止するために保健婦による巡回指導を行っています。

2. 多摩健康管理センター

東京のベッドタウンとして開発された多摩地区在住の会員健康保険組合の被保険者とその家族を対象とした健診を行うために昭和59年4月に専門の健診施設として発足しました。

所在地 立川市錦町3-7-10

電話 0425(28)2011

3. 多摩健康管理センター巡回健診部

平成3年4月から巡回健診車を設け、健診車が直接事業所へ行ってその場で成人病予防健診ができるようにしました。

所在地 立川市錦町1-17-14

電話 0425(29)1811

4. 在宅介護相談センター

平成4年1月から在宅でお年寄りの介護にあたる方々のご苦勞をできるだけ軽減し、お年寄りの自立を少しでも長く維持していただくために、電話による相談を受け付け、役立つ情報や施設の紹介をしています。

所在地 東京都台東区浅草橋1-3-14

電話 03(5820)0990

受付 月～金曜日 午前10時～午後4時

一般事業

1. 高額療養費つなぎ資金貸付事業

多額の医療費の支払いを必要とするものに対し、高額療養費が支給されるまでの間、高額療養費相当額の90%を無利息で貸し付け、被保険者などの生活の安定を図っている。

2. 体育事業

会員組合が実施する野球大会の優勝チームの参加を得て、軟式野球大会を開催する。また、被保険者などを対象にテニス大会を開催している。



3. 健康講座

健康づくり事業として健康講座を開催している。

4. 施設の共同利用等

東京健保組合大宮運動場及び保養所の共同利用の推進に努めている。

お問い合わせ

(社)東京都総合組合保健施設振興協会
東京都墨田区亀沢1-7-3
東京都二ツツ健保会館5階
電話 03(3626)7504

社会保険労務士事務所の運営



平成4年2月6日第一部会において、上記をテーマとした講演と小グループでの意見交換会を行った。

基調講演では、会員である森萩忠義氏が、自らの社会保険労務士としての歩みを述べた。

氏は、昭和45年(旧)日本事務能率協会に就職し、総務を担当されていた。昭和47年、社労士試験をパスし、協会が50年に労働保険事務組合の認可を受けて以来、責任者として事業の運営を支えてこられた。

52年に退職、神田管内で開業したが、それは交通の便、職場と住居の適度な距離の確保、そして「家賃を払って背水の陣をとる」ことなどが理由であった。

氏は、事務所の歴史を拡大期、調整期、そして事務所内部の管理期に大別されておられるが、顧客の開拓もいろいろ工夫し、年金解説のスライド作成、様々な人との出会いが貴重であったと話された。

調整期は、職員の採用に併行して、事務組合を再受託し、顧客単価を適正化していった時期である。また、この時期には顧客が顧客を呼び始めるようになった。

内部調整期は、事務所の適正規模を考えるようになり、職員の教育や研修等、ひとつの事務所単独では対処しきれない問題が発生してくるときであった。

その後の意見交換会では、事務所の発展形態がその事務所の個性を決定するよう思われた。

提案としては、事務所の共同化、他士業との連係による合同化、可能な範囲での法人化について話される方もあった。機械化への対応として、機種や帳票の統一で経費削減や、情報交換ができるというメリットがあるという意見があった。

将来的展望としては、いわゆる3号業務へシフトしていくという点では、共通の認識をもっていたが、自ら精進することが必要という結論になった。そのためにも、第一部会内に専門部会を設置したり、今回のような経験交流の場をこれからも実施するべきという要望が多数あったことを報告させていただく。

(業務推進委員 橋本敬司)



臨時労働保険指導員担当者

お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。
す。

5月7日～6月11日

横尾直子、橋本敬司、高根祐司、清野ヒロミ、恩田

和明、新崎喜代子、勝本京子、高橋美実子、鈴木義一、
吉瀬君江、相馬誠一、長森敏泰、町田政二三、新井功
一、久保田 武、赤森伸子、内藤治男、関口 武、富
田秀子、山崎雅也、松林清雄

平成4年度 算定相談コーナーを実施しました

本年度も、各社会保険事務所に相談コーナーが開設
され、算定基礎届に関する相談、指導業務に協力しま
した。以下に実施結果を報告します。

期 間 平成4年8月3日～8月12日・8日間

地 区 麴町、神田、日本橋、京橋

延 動 員 者 数 62人

延 日 数 62日

指導・相談事業所数 311

担当会員名 (*は勤務等会員)

麴町社会保険事務所

大槻哲也、北野茂、桑原良治、豊岡来実、長森敏泰、
横尾直子、豊福雅典、才木惇、関口尚孝、橋本敬司、
森 俊介、清野ヒロミ、小林包美、永島セツ、藤野敏
寛、加藤恒男(*)

神田社会保険事務所

森萩忠義、國分孝明、遠藤元基、石橋孝直、内藤晃、
滝口修一、高橋美実子、柏木弘文、山根松夫、隈元巖、
早坂高明、金綱久夫、秋葉俊夫、石原健三

日本橋社会保険事務所

山崎雅也、真許隆弘、佐々木俊世(*), 石川英豊、
川合昭子、吉野俊雄、原田利雄、吉本伸太郎、岩田省
一(*), 富田秀子、富田安俱、中林政雄、今野正春、
鈴木義一、石山幸子、関口武

京橋社会保険事務所

渡辺和洋、赤松ハルミ、莊司美恵子、川崎ふみ、松
林清雄、松原敏明、松井省二、新崎喜代子、藤原正子
(*), 遠藤卓己(*), 小野菊枝、飛澤孝治、赤森伸子、
石井温隆、小口隆明、富田秀子

臨時労働保険指導員に感謝状が贈呈されました

平成4年9月11日、中央労働基準監督署長より
臨時労働保険指導員に局長・署長感謝状が交付さ
れました。受賞された方々は次のとおりです。

局長感謝状 20年 桑原 良治 (麴町 地区)

10年 恩田 和明 (神田 地区)

10年 森萩 忠義 (神田 地区)

10年 吉本伸太郎 (日本橋地区)

署長感謝状 関口 武 (日本橋地区)

新しく当支部会員になられた方をご紹介します

入会年月	氏 名	地区別	開業・勤務等別	入会年月	氏 名	地区別	開業・勤務等別
平成4年1月	遠藤 邦夫	京 橋	開 業	平成4年5月	竹中 哲夫	日本橋	勤務等
	阿部 昭利	神 田	勤務等	平成4年6月	小澤 弘毅	麴 町	勤務等
	内藤 耀子	麴 町	勤務等		佐田 紀子	麴 町	勤務等
	鈴木 幸恵	麴 町	勤務等		村上 稔	神 田	勤務等
平成4年2月	山川 昭吾	麴 町	勤務等		篠崎 悦雄	神 田	勤務等
	野澤 和夫	麴 町	勤務等		杉野 英雄	神 田	勤務等
	下村 正行	麴 町	勤務等		日向 靖	京 橋	勤務等
	重松彌三郎	麴 町	勤務等		増淵 清	麴 町	勤務等
平成4年3月	諸橋 庸行	麴 町	勤務等	平成4年7月	中田 久義	麴 町	開 業
	栗山 碩夫	京 橋	勤務等		永島 登	神 田	開 業
平成4年4月	日隈 謙治	麴 町	開 業		木村 健	日本橋	勤務等
	小南 博	京 橋	勤務等		相葉 保夫	京 橋	勤務等
	土屋 誠	麴 町	開 業		高田 規行	麴 町	勤務等
	石橋 清仁	京 橋	勤務等		江崎 芳弘	麴 町	勤務等
	松田 弘	麴 町	勤務等		田中 上	麴 町	勤務等
平成4年5月	内藤 晃	神 田	開 業		谷崎 建治	神 田	勤務等
	國分 孝明	神 田	勤務等				

平成4年度労働保険新規加入事業場説明会の担当者(今後の予定)

平成4年10月5日 石川英豊
遠藤元基
11月9日 朝緑
大森
12月7日 大槻哲也
勝本京子
平成5年2月1日 柏木弘文
恩田和明

中央区役所年金相談担当者(今後の予定)

平成4年
10月28日 新井 功一
11月25日 國岡 喜久
12月16日 横尾 直子
平成5年
1月27日 柏木 弘文
2月24日 宮田 浄子
3月24日 高橋美實子

東京商工会議所・相談窓口担当者(今後の予定)

平成4年
4月～6月 相馬 誠一
7月～9月 石川 英豊
10月～12月 鈴木 義一
平成5年
1月～3月 新井 功一

会 員 異 動 状 況

地区	平成4年2月29日現在			異 動 (増減)			平成4年7月31日現在		
	開 業	勤 務 等	計	開 業	勤 務 等	計	開 業	勤 務 等	計
麴 町	39	152	191	3	△2	1	42	150	192
神 田	65	113	178	△3	△2	△5	62	111	173
日本橋	32	104	136	△2	△9	△11	30	95	125
京 橋	50	95	145	△2	2	0	48	97	145
合 計	186	464	650	△4	△11	△15	182	453	635

委 員 会	
報 告	

〈総務委員会〉

Ⅰ. 第1回正副支部長・委員長会 4月8日

(1) 報告事項

- ・平成3年度確定収入支出決算報告その他

(2) 協議事項

- ・平成4年度第一四半期事業計画に関する件
- ・平成4年度予算の配分に関する件
- ・新規入会者との懇談会実施に関する件

Ⅱ. 第2会正副支部長・委員長会並びに第1回幹事会 5月19日

(1) 報告事項

- ・通常総会代議員の確認その他
- ・第1回、第2回正副支部長・委員長会の結果
 - ①平成3年度確定収入支出決算報告について
 - ②平成4年度予算の配分について
 - 第一部会 45万円 第二部会 32万円
 - 研 修 52万円 広 報 74万円
 - 厚 生 52万円 総 務 10万円
 - 支部経費 152万円 合 計 417万円
- ・昨年交付実績に会費改定案が承認された場合との注釈付にて報告された。

(2) 協議事項

- ・新規入会者との懇談会実施に関する件
- ・第1・2回研修会の開催に関する件
- ・算定基礎届相談コーナー打合せについて

Ⅲ. 新規入会者との懇談会 5月19日、明神会館 出席者17名

Ⅳ. 第3回正副支部長・委員長会 6月12日、電設健保会館

(1) 報告事項

- ・通常総会及び政治連盟会定期大会結果について
- ・支部対抗野球大会について
- ・平成3年度、5人未満巡回説明の結果報告

(2) 協議事項

- ・研修会及び支部例会に関する件
- ・算定基礎届打合せ並びに適用第一課長との懇談会実施について

Ⅴ. 第4回正副支部長・委員長会 7月6日、東京トラック健保会館

(1) 報告事項

- ・東京都社会保険労務士会諸会議の結果
- ・部会並びに委員会の活動状況について
- ・千代田区、区民相談コーナー設置要望

(2) 協議事項

- ・第2回研修会、支部例会、算定相談コーナー打合せ、適用第一課長との懇談会の役割分担に関する件
- ・9月例会、第5回正副委員長会、第2回幹事会、第3回研修会並びに算定打上懇親会に関する件

政 連 だ よ り

参議院選終る 推薦7名、 当選5名

～ご協力ありがとうございました～

去る7月26日行われた参議院議員選挙は選挙史上最低の投票率といわれ、PKO協力法や政治浄化の争点が色褪せて、国民に訴える力がなかったのは、誠に残念であります。

その中であって、私達は東京選挙区で浜四津敏子氏(公明)、森田健作氏(社会)、小野清子氏(自民)を当選させ、惜しくも、小倉基氏(自民)は次点に終わりました。

また、比例区では名簿順位の関係で村上正邦氏(自民)、田辺哲夫氏(自民)が当選、25位の長尾立子氏(自民)は自民党の得票率で当選になりませんでした。

殊に今回の選挙では当政連としての活動範囲の難しさを再認識させられましたが、ともあれ、会員の皆様には陰に陽に多大のご支援、ご協力をいただき、ここに改めて厚くお礼を申しあげる次第であります。

次は法改正に全力投球

ひとまず国政選挙も終って、これからはいよいよ本題の社会保険労務者法一部改正に向けて、全開始動で、これにあたるわけであります。

秋の国会は景気対策や内閣の命運をかけた政治改革関連重要法案が控えており、社会保険労務士法一部改正案が議場の表舞台にでるのは、なかなか難しい情勢にあります。

しかしながら、地道な努力の積み重ねがなくては目的の達成はできません、今後とも、将来に備えて引き続き会員皆様のご支援をお願いいたします。

社会保険事務所感謝状受賞者

神田社会保険事務所 2名

遠 藤 元 基
隈 元 巖

日本橋社会保険事務所 1名

今 野 正 春

京橋社会保険事務所 3名

松 原 敏 明
新 崎 喜代子
赤 森 伸 子

愛 称 募 集

皆様に毎号ご愛読いただいている千代田・中央支部会報の愛称(ニックネーム)を募集しています。

す。覚えやすく親しみのある名前をお寄せください。投稿は事務局あて(表紙に記載の住所)をお願いします。採用の方には豪華な賞品をさしあげます。

あ と が き

毎年のことながら、労働保険の年度更新や、苦しさ中の社会保険の算定基礎届など、たいへんご苦勞様でした。

ひと息ついて、秋まっ盛りの今日この頃ですが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今回は前号に続いて好評の一龍齋貞花師

匠講演「織田信長」の後編。関連団体紹介は高齢化社会に向けて、健診事業や介護相談に積極的に取り組んでおられる(社)東京都総合組合保健施設振興協会を中心に編集いたしました。実務のうえでも、大いに役立てていただきたいと思います。

会報は会員皆様の数少ない交流の場です。ご意見やご感想をお寄せください。

広報委員 山本弘之